Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	保育実習Ⅲ					授業形態	実習		
科目コード	750105	単位数	2単位	配当学年		実務経験教員	○	アクティブラーニング	○
担当教員名	若宮　邦彦							ICT活用	○
授業概要	この授業は児童福祉施設（保育所を除く）の機能と役割を理解する事を目的とします。 保育実習ＩBや大学で学んだ諸教科の内容及びその関連性を踏まえながら、保育について総合的な視点での学びを深めるとともに、保育実践力を培います。また、レジデンシャルソーシャルワークの展開、多職種連携の意義等についても理解を深めます。事後指導では、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題を明確化するとともに保育士の専門性と職業倫理について自らに引きつけて理解を深めます。								
関連する科目	児童家庭福祉、社会的養護内容、保育実習Ⅲ(施設実習)事前指導を履修しておくことが望ましい。実習中の巡回指導、実習後の事後指導、実習報告会への出席が必須となります。								
授業の進め方と方法	配属先の児童福祉施設等に宿泊もしくは通所にて実習を行う。施設利用者の生活と支援内容について学ぶ。各施設の特性(障がい系、養護系)に応じた個別指導を受けながら施設保育士の業務、他専門職との連携等について保育実習ＩB(施設)のふりかえりをふまえて施設保育士の専門性を理解します。 配属された児童福祉施設等において宿泊もしくは通所にて11日間の実習を行う。 実習期間中に教員が巡回して指導する。 １．児童福祉施設での保育体験を通し、保育士として必要な技術、能力、資質を習得する。【コミュケーションスキルの育成】 ２．子ども、家庭、地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解を深める。【知識・理解の獲得】 ３．人間らしさを擁護し促進する態度、人の育ちや地域の育ちを支援する実践力を習得する。【生涯学習力の育成】								
授業の到達目標	１．保育実習Ⅲ（施設）の意義・目的、及び実習の内容と具体的事項を理解する。【知識・理解の獲得】 ２．社会的養護における子どもの支援と保育者としての専門性を理解する。【コミュニケーションスキルの育成】 ３．子ども理解、実践の展開・評価・改善の一連のプロセスの理解を深める。【知識・理解の獲得】 ４．施設保育士の職業倫理・業務内容についての理解を深め、自己の課題を明確化する。【生涯学習力の育成】								
学位授与の方針(DP)との関連	2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)								
授業時間外学習【予習】									
授業時間外学習【復習】									
課題に対するフィードバック	最終試験は評価後、返却及び解説をします。								
評価方法・基準	①実習施設指導者による評価（80点）。 ②本大学の保育実習評価（20点）。								
テキスト	①保育実習日誌 ②保育実習の手引き								
参考書	「施設実習ガイド」　保育者として成長するための事前事後学習　萌文書林								
備考									